

# 別府警察署庁舎



所在地：大分県別府市田の湯町13番13号  
 建築面積：1,515.61㎡  
 延床面積：5,848.72㎡  
 構造・規模：鉄筋コンクリート造、5階建  
 施工主：大分県警察本部  
 設計：基本設計/大分県警察本部 会計課施設管理室  
 実施設計/株式会社総合計画九州事務所  
 工事監理：大分県警察本部 会計課施設管理室  
 大分県土木建設部施設整備課  
 施工：建築/梅林・平野建設工事共同企業体・株式会社  
 電気/株式会社山田電設工業  
 完成年月：平成26年5月

S278

長年の経過で老朽化した別府警察署庁舎が新築移転。

照明には省エネ性能に優れたLED器具を中心に採用し、大幅な消費電力の削減とCO<sub>2</sub>排出量の軽減を図っています。

## 市民に分かりやすい配置とした新庁舎で、効率的な業務を展開

別府警察署は、大分県警察が管轄する警察署の一つで、大分県内にある15の警察署の中でも大分中央警察署に次いで2番目に大きい人員規模。これまで餅ヶ浜町で業務を行っていましたが、築45年の経過の中で狭隘化と老朽化が著しくなるとともに、多様化・複雑化する警察運営ニーズに対応するための施設整備が急務となっていました。このため、新たな敷地として田の湯町の地方職員共済組合別府保養所「つるみ荘」跡地に平成26年6月に新築移転し、業務が開始されました。1階は地域課・交通課・大会議室、2階は生活安全課・総務課・会計課・道場、3階は刑事課、4階は留置管理課などの配置構成となっています。

## 優れた省エネ性能のLED照明を中心に採用し、節電しつつ快適性を追求

1階の地域課・交通課それに2階・3階への移動の核となるエントランスの照明は、3m高さの天井に高出力のLED一体形ダウンライト2000シリーズを配置し、明るくスッキリとした空間を確保。あまり明るさが要求されない通路などのスペースにはLED一体形ダウンライト1500シリーズを採用しています。交通課や地域課、それに生活安全課などの執務室の照明は、Hf32W×2灯用蛍光灯埋込器具初期照度補正タイプを整列配置してランプ初期の無駄な明るさを抑制し、窓側1列は高出力調光タイプを用いて昼光利用制御により連続的に明るさをコントロールして省エネしながら快適性を保持しています。大会議室の照明は、Hf32W×2灯用蛍光灯器具をライン配置し、その周囲にLED一体形ダウンライトを採用してプロジェクターなどの情報機器を使用する際は細分化した点灯スイッチにより適度な明るさが確保できるようにしています。

2階にある道場の照明は、4mの高天井のため150Wメタルハライドランプ器具とほぼ同等の明るさを消費電力92Wで実現するLED一体形ダウンライト9000シリーズを採用。反射板は銀色梨地仕上げにより不快なグレアを低減し、明るく均一な競技空間を創出しています。



1階交通課の照明 カウンター前はLED一体形ダウンライト、執務室はHf蛍光灯埋込形タイマー内蔵器具を採用



LED一体形ダウンライトを配置したエントランスの照明



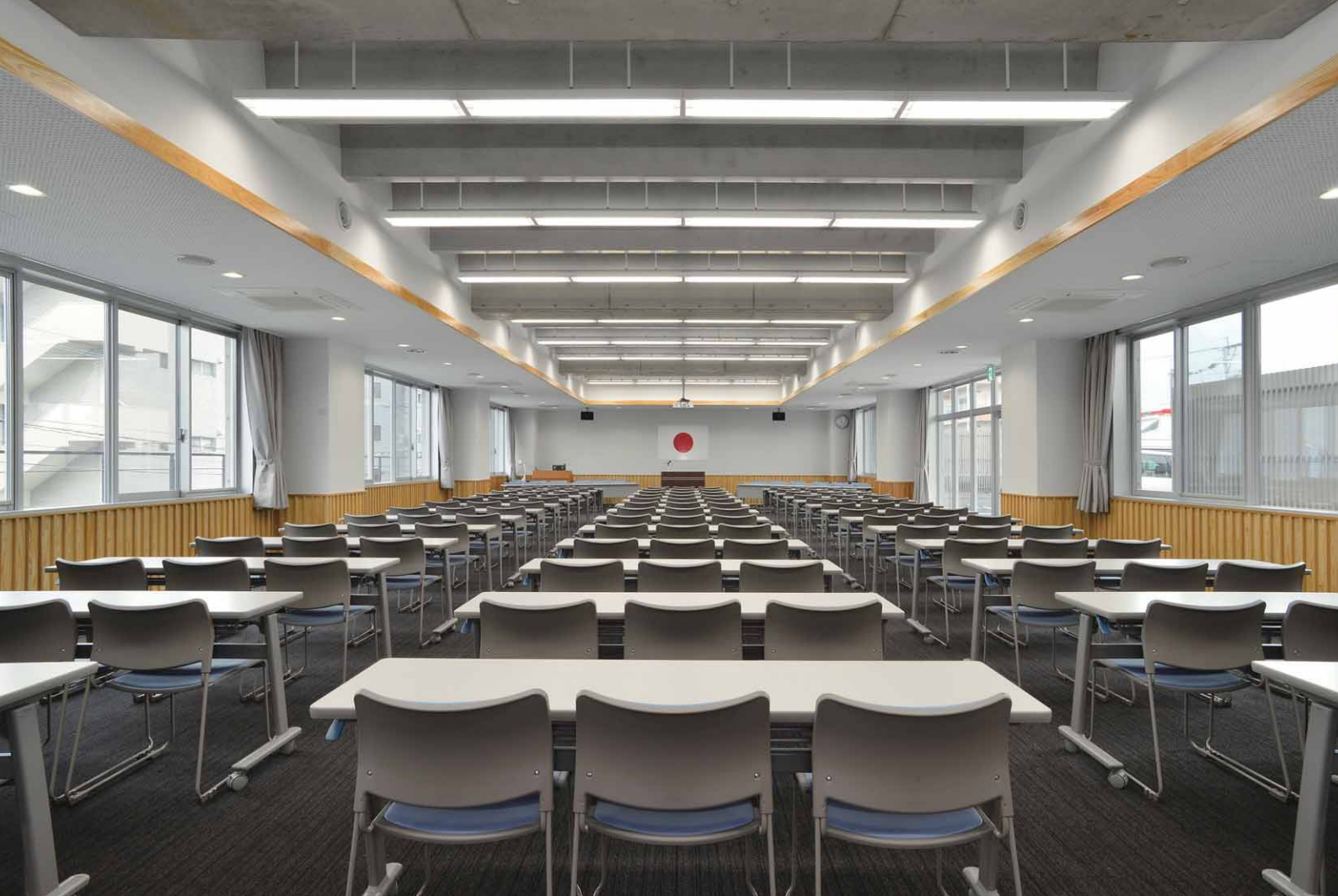
LED一体形ダウンライト採用の生活安全課受付まわりの照明



総務課受付まわりのLEDダウンライト照明



トイレのLED照明



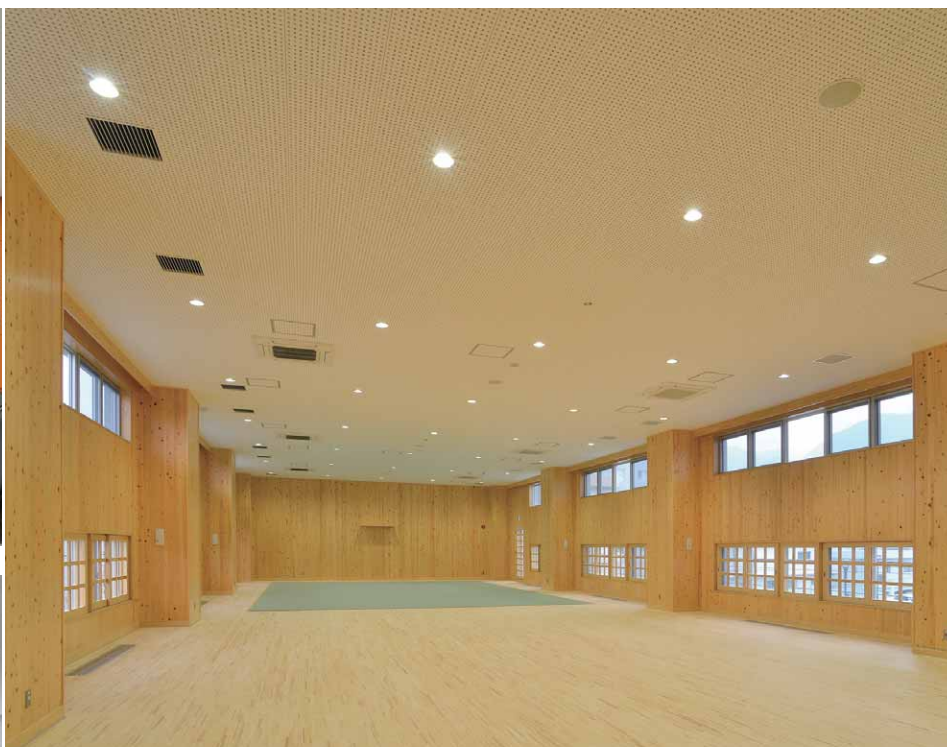
大会議室の照明 Hf32W×2灯用器具を中央にライン配置し、その周囲にLED一体形ダウンライトを均等に配置



Hf蛍光灯器具スクエアタイプを採用した署長室の照明



Hf32W×2灯用埋込器具(初期照度補正タイプ)採用の中間会議室



道場の照明 高出カタイプLED一体形ダウンライト9000シリーズを採用し、高天井に対応

主な器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
室内	LED一体形ダウンライト1000シリーズ	LEDD-09011MN-LS9	60	LED 消費電力:100W
	LED一体形ダウンライト2000シリーズ	LEDD-21021MN-LS9	60	LED 消費電力:17.8W
	LED一体形ダウンライト1500シリーズ	LEDD-15021MN-LS9	296	LED 消費電力:14.6W
	LED一体形ダウンライト9000シリーズ	LEDD-95011N-LD9	40	LED 消費電力:89.5W
	Hf蛍光灯埋込タイマー内蔵器具	FHR-42800N-PK9	223	FHF32×3
		FHR-41800-PK9	59	FHF32×1
		FHR-41307M-PK9	52	FHF32×1
		FHR-42800-PD9	69	FHF32×2